

工業用安全柵／レーザー遮光対応

レーザーセーフティフェンス

Laser Safety Fence (LSF)

特許登録済

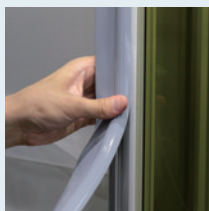
受注
生産品

日本国内限定販売

NEW 3つの安全、安心機能を追加



遮光レール



マグネットキャッチ



両掛け落とし錠



3つの新パーツによりさらに**安全、安心**になりました

レーザー安全対策の基本的な考え方

目や皮膚へレーザーばく露しない（させない）方法を考えることが一番大切です

まずは（その1）レーザーを外部に出さないよう、環境を整え安全対策を講じる必要があります。

その上で（その2）レーザー光を直接見ない方法を考案し、レーザー光からの直接のばく露量をなくす。レーザーウィンドウからの目視確認、カメラなどの遠隔操作で代用確認などが可能な方法を考えてみましょう。最終的に、（その3）作業上、レーザー光の使用環境下において、直接加工状況や仕上がりなどの確認が必要な場合は必ず用途に適した保護具を着用しましょう。

その1

レーザーを外部に出さない



その2

レーザー光の直接のばく露をなくす



その3

保護具を着用する



安全をつくる 快適でささえる

Comfortable safety

山本光学株式会社

セフティ＆レーザー・オプト事業部

本社 / 06-6783-1101 東京支店 / 03-3868-5503



遮光レール



扉などの可動部に生まれる隙間をカバーする樹脂製専用パーツ

両掛け落とし錠



フェンスの内側から施錠でき、緊急時には外側からの開錠が可能

マグネットキャッチ

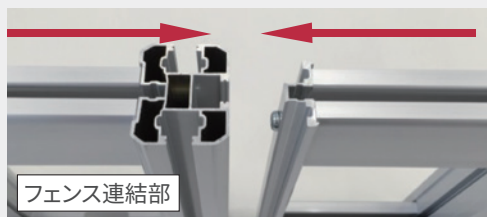


製造現場のフロア傾斜や振動によって扉同士が離れることを防止

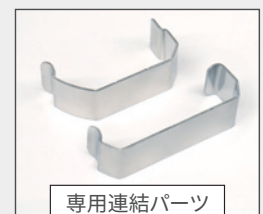
レーザー安全に特化した特殊フレーム構造

特許登録済

フレーム連結部に特殊はめ込み構造（特許取得済）を採用。
レーザーセーフティフェンス（LSF）は、フレーム間に隙間が発生しないため、シーリング作業を行う必要がありません。また、専用連結パーツの取り付けも簡単で、誰でも設置が可能です。



※設置の際は、アンカーボルトで確実に固定してください。

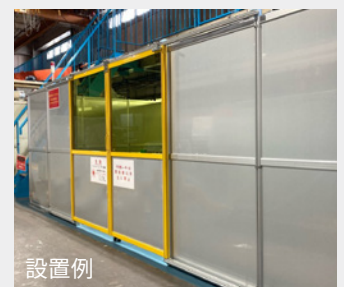
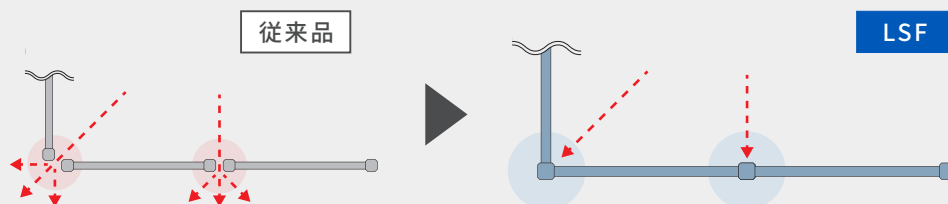


専用連結パーツ



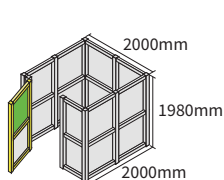
解除ハンドル

フレーム連結部に隙間がないため、直線レイアウトや、L字レイアウトでもレーザー光が漏れることはありません。



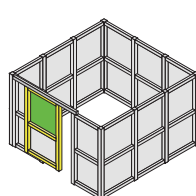
標準仕様

パターン A

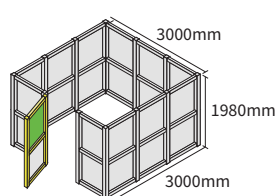


片開き扉仕様

パターン B

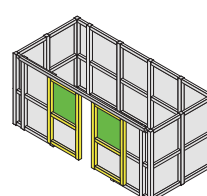


スライド扉仕様

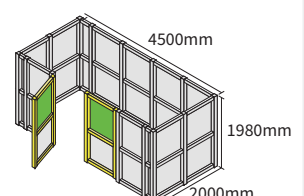


片開き扉仕様

パターン C



スライド扉仕様



両開き扉仕様

※ レーザーセーフティフェンスは(株)小森安全機研究所との共同開発製品です。 ※ 仕様は予告なく変更される場合があります。

